

BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME: AXIOM PEARL

COLOR : COBAL/TGRAPHITE/CANDY APPLE

COVER STOCK: NEX™ PEARL REACTIVE

RG : 2.48(MED/15P) ΔRG:0.050 (MED/15P)

FACTORY FINISH: 1500-Grit POLISHED

TRACK FLARE POTENTIAL : 5 - 6" (MED)

BACK END:17 LENGTH : 16 (1-20)

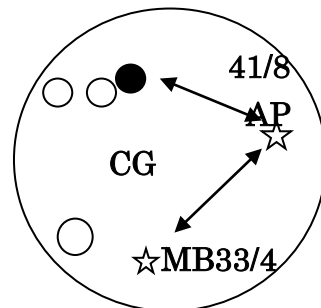
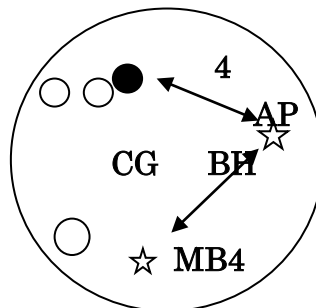


2020年8月5日

レイアウト例

AXIOM TOUR

AXIOM PEARL



O	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy

適正レーンコンディショニングラフ

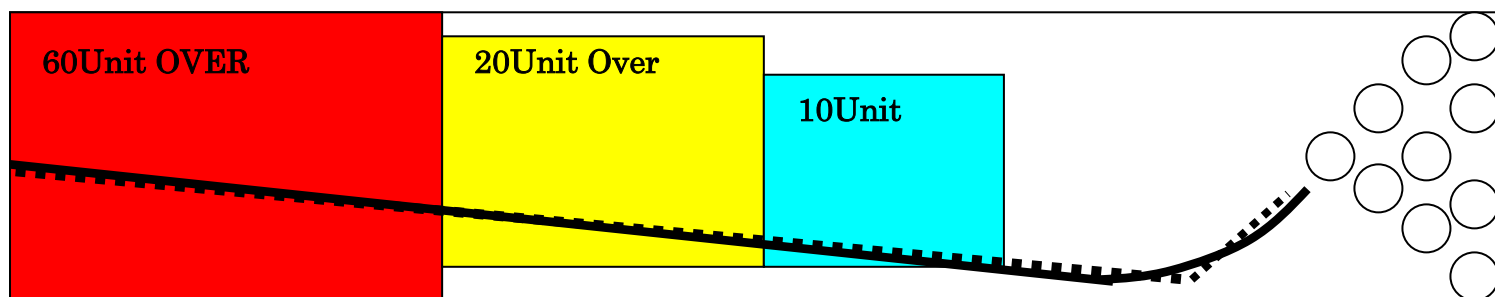
【MEDIUM OIL 編】

CA52.5度/PSA2

フラー幅 最大 6 1/4 ・ 間隔 1/8

CA57.5度/PSA2

最大 6 1/8 ・ 間隔 1/8



0F

15F

35F

40F

比較品ライン

AXIOM PEARL

AXIOM TOUR

【レーン状況】 アンボイマシンのレーンメンテでドレッシングは40Fまででバックエンドはクリーニングされ、多少薄いオイル量の通常メンテです。

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強さ	1	2	3	4	5		
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○		△				

*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

スペック的には同じ素材を被せていますが、パール配合率等を変える事で曲がりに影響を出していてレーン手前の直線的で攻撃的な動きは TOUR 同様に仕上がっていますが、バックエンドでの曲がりに関しては世界発売の AXIOM PEARL の方がアーク状 (弓なり) な曲がりが見られます。

【ここがポイント】

良いボールなので連続して販売する事にしましたが、このアキシオムパールの特徴としては、OEMで販売した AXIOM TOUR と比べてバックエンドでの曲がりには違いが見られました。元々転がり感の良いオービタルコア採用の初代 AXIOM からのセールスポイントである、レーン手前の直進性と NEX 素材の噛みながら進む特徴がドライ部分での急激な曲がりが見えられコントロール性を高めています。AXIOM TOUR のパール配合量の方がやや多く、シャープな切れを見せます。カタログ版 AXIOM PEARL は米国の高回転ボウラーにも使い易いように改良され大きなアーク状の曲がりが見られます。

発売予定：2020年10月下旬 希望小売価格 ¥49,000 円 (税別)

石原 章夫プロ 【(株)ハイ・スポーツ専属ボウラー】 テスト協力センター：アイビーボウル向島

